

資料1-6

集中監視室の集中管理能力向上について

2016年4月26日

TEPCO

長期的な廃炉作業を着実に進めるための集中管理能力向上対策

福島第一原子力発電所の緊急安全対策（2013年11月8日に公表）
3.設備の恒久化 新中央監視室の設置（集中管理能力の向上）

■ 免震重要棟監視室内における監視機器の物理的分散の解消

- ✓ 2015年2月 免震重要棟監視室に1F主要設備の情報が一元的に監視できる集中監視システムの設置が完了。



集中監視システムの設置前
（個別の監視機器で監視）



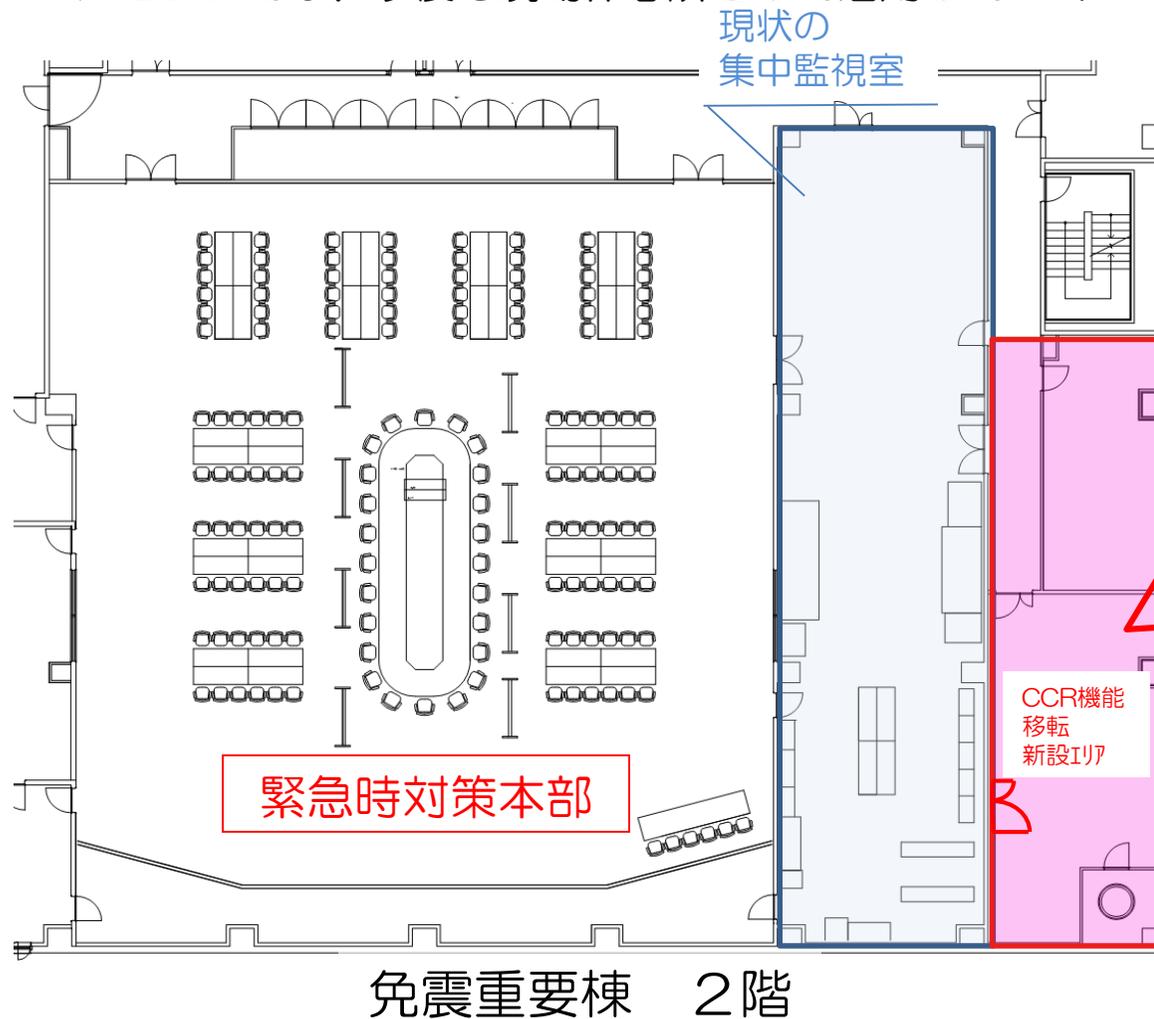
集中監視システム設置完了
（2015年2月）

■ 水処理設備の監視機能の分散の解消（CCR機能移転）

- ✓ 1～4号設備と水処理設備の監視機能分散の解消および水処理設備運転員の執務環境改善を目的とし、シールド中操（以下、CCR）機能を免震重要棟に移転する工事を実施中。（2016年5月中旬に機能移転する予定）

2. CCR機能移転工事の実施状況

- 集中監視室の拡張工事を実施し、多核種除去設備等の水処理設備の監視・操作機器を新設し、免震重要棟から監視・操作できる環境を整備中である。
- 運用切替後のCCRは設備設置エリアを施錠管理し、バックアップとして運用していく。他エリアについては、今後も現場休憩所として活用していく



4/8より非管理区域運用を開始

